



**HATTORI**

〒701-0151岡山市北区平野620  
TEL (086) 293-2111 FAX (086) 293-2112  
<http://www.hattori-k.co.jp> E-mail:info@hattori-k.co.jp



環境にやさしい  
植物油インキを使用

**UD FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

# CSR REPORT ★2018

服部興業グループ CSRレポート

2018.4.1-2019.3.31



服部興業株式会社 | 株式会社岡山木材市場 | 株式会社岡山ガラステクノ | 株式会社服部パーキング

# CSR REPORT ★ 2018

- CONTENT
- 02 トップメッセージ
  - 03 経営理念
  - 04 組織図
  - 05 SDGsへの取り組み
  - 07 トピックス 「平成30年7月豪雨」災害対応
  - 09 経営理念を実現するために(組織統治)
  - 11 健全な企業風土づくり(人権)
  - 13 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)
  - 17 持続可能な環境への取組み(環境)
  - 19 法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)
  - 20 お客様の安心と満足のために(消費者課題)
  - 21 地域の皆様とともに(コミュニティへの参画)
  - 25 第3者意見

## CSRレポート編集方針

私たちは経営理念のもと、日々の事業活動を行っております。

その報告書としてCSRレポートを作成するにあたり、世界のすべての団体に適用可能な社会的な責任の国際規格である『ISO26000』を手引きとして活用しています。

同規格のガイドラインに従い、以下の7つの原則に則っています。

### 7つの原則

- ①説明責任 ②透明性 ③倫理的な行動 ④ステークホルダー ⑤法の支配の尊重 ⑥国際行動規範の尊重 ⑦人権の尊重

私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し編集しています。

#### 7つの中核主題

- 6.2 組織統治
- 6.3 人権
- 6.4 労働慣行
- 6.5 環境
- 6.6 公正な事業慣行
- 6.7 消費者課題
- 6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

#### 服部興業グループの7つのカテゴリー

- 経営理念を実現するために(組織統治)
- 健全な企業風土づくり(人権)
- 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)
- 持続可能な環境への取り組み(環境)
- 法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)
- お客様の安心と満足のために(消費者課題)
- 地域の皆様とともに(コミュニティへの参画及びコミュニティの発展)

## ◆トップメッセージ

### 新しい世紀へ向けて

服部興業グループは2018年4月7日に創業200周年を迎えることが出来ました。これもひとえにお客様、取引先や地域の皆様等多くの方々のご理解ご支援の賜物であり心より御礼申し上げます。

創業は文政元年(1818年)、江戸時代後期。すでに100年以上続く、西服部家7代目の家督であった平兵衛信高が、材木業を営む“若葉屋”を牛窓東町に興したことから始まります。3代目平九郎が明治36年(1903年)に、“事業発展の極意”を家法としてまとめていて、そこには3つの重要な思想が記されています。1つめは、道義を重んじるという“人間尊重”的精神です。勤勉さや、善い行いが良い結果をもたらすという、因果応報の考えが記されています。2つめは、“堅実経営”を貫いていたこと。質素儉約、創業記念日には年度決算をまとめることなど、ルールや数字への厳しさが表現されています。3つめが、忠誠心と功績ある者を優待するなど、早くから人事制度を整備し、“社員幸福”を実現しようとしていたことです。これらを守りながら、東服部家の事業は、材木業、貸金業、そして地主経営を3本柱に見事に拡大してきました。

そして、その後もセメントや石油製品、そして硝子、鋼材などを取り扱い、建設とエネルギーの分野へ事業を転換しながら世の中の大きな変化を乗り越えて今日を迎えることが出来ました。

新しい世紀へ向けて、改めて皆で会社の目的について考えました。眞面目で一生懸命が私たちのモットーである、従業員の一人一人が能力を発揮して働いてみたい、そして企業の社会的責任を果たしているといったこれからも大切にしていきたい価値観や役割をまとめ、「正しいことを実践し、社員の幸福と、社会の進歩発展に貢献する」というミッションとして明文化しました。

今まで世界のトップリーダーたちは、偉大な社会的事業を世の為人の為に考え、自己犠牲を厭わず、勇気を持ってやり遂げてきました。また、決して利己的にならない為に、正しい判断基準を身に付けることの重要性を説かれています。私たちもその教えを学び、フィロソフィを作成しました。毎日の朝礼スピーチ、毎月の全社勉強会「決戦」での成功事例の発表、“京セラフィロソフィ”的輪読、各部門との勉強会等々、これまでの学びをまとめ「服部フィロソフィ」としました。家法、考勤基本、行動指針、そして、SSとともに、私たちの行動規範として実践し、“服部らしさ”を身に付けていきたいと思っています。

そして、経営信条として追求してきた「3つの満足」(顧客・社員・会社)とともに、新たに“社会の満足”としてCSR方針を定めました。社業発展・社会貢献、これからも社会との繋がりを強め、地域とともに成長発展を目指して参ります。また、新たに社内のCSR委員会のメンバーとも議論を重ねる中、国連の持続可能な開発目標“SDGs”に出合い、服部興業グループも社会の一員としてこの取り組みに参加することを決めました。8つの目標とそれらの達成へ向けての具体的取り組みを定め、本業を通じて社会課題の解決への行動やその成果をまとめました。本レポートが、社員やその家族、そして取引先は勿論、より多くの皆様とのコミュニケーションの機会となれば幸いです。

最後に、服部興業グループは、これからも経営信条、CSR方針、そして定める行動規範を徹底し、「人づくりを原点に、品質・安全・環境を追求し、人々の豊かな暮らしを実現する、地域ナンバーワンの企業」になるというビジョン達成と、地球の未来と社会の発展に貢献していく会社を目指して参ります。



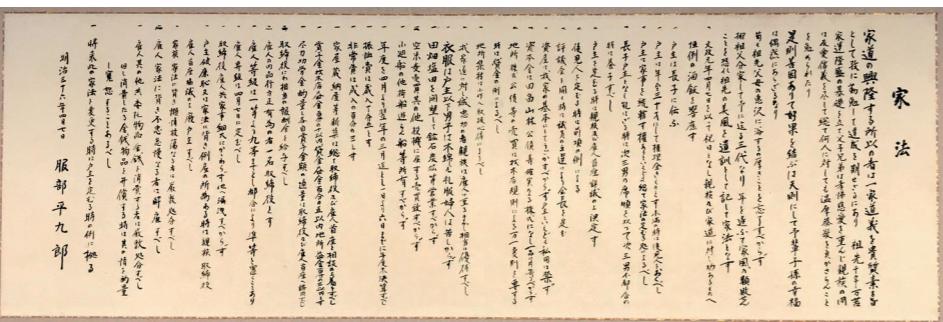
代表取締役社長  
服部 俊也

## ► 経営理念

## ► 組織図



三代目 服部平九郎

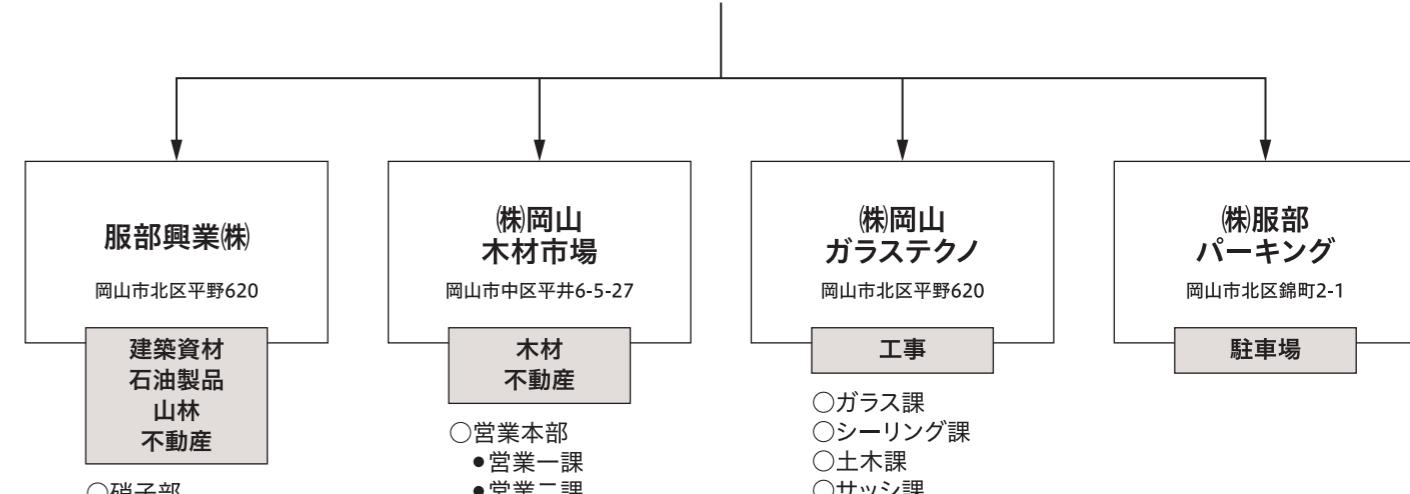


行動指針

即反応・即実行

## 仕事に気魄と気働き

|         | 好感  | 安心感  |
|---------|---|--|
| 即反応・即実行 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◦感謝の気持ちを表わそう</li> <li>◦自ら進んで行動しよう</li> <li>◦理解する人になろう</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◦約束は守ろう</li> <li>◦報告はすぐしよう</li> <li>◦勇気を持って継続しよう</li> </ul>       |
| 気魄・気働き  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◦身だしなみを整えよう</li> <li>◦いつも笑顔で接しよう</li> <li>◦バイタリティーでやり遂げよう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◦相手の立場で考えよう</li> <li>◦自信を持って行動しよう</li> <li>◦成功への執念を持とう</li> </ul> |



- 硝子部
  - サッシ部
  - 外壁部
  - セメント部
  - 土木資材部
  - 山林部
  - 総務部
  - 石油部
    - Dr.Driveセルフ平野SS
    - Dr.Drive倉田SS
    - Dr.Driveセルフ花尻SS
    - セルフ古都宿SS  
セブンイレブン岡山古都宿店
  - 産業燃料
  - カーケア



# ► SDGsへの取り組み

## SUSTAINABLE GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsとはSustainable Development Goalsの略称です。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国で2030年までに達成する目標です。エネルギー問題や気候変動、教育や健康、さらには働きがいや経済成長も踏まえたもので、私たちの企業活動と目的が一致するものが多くあります。服部興業グループでは2018年4月7日にSDGs宣言を行い、成長目標を定め、我々が取り組むべきゴールに向けて事業を行っています。



### ＊ 服部興業グループ SDGs 宣言

服部グループは今年創業200年を迎えました  
次の100年へ向けて私たちも社会の一員として  
「持続可能な開発目標(SDGs)」の取組に参加することを宣言します

2018.4.7

服部興業株式会社  
株式会社岡山木材市場  
株式会社服部パーキング  
株式会社岡山ガラステクノ

代表取締役社長 服部俊也

私たちは本業において社会課題の解決へ取り組みます。

#### 2018年度の重点成長目標



複層ガラス3,200m<sup>2</sup>(硝子部)

内窓工事、ガラス交換工事40件(サッシ部)

耐震パネル率70%、2,800m<sup>2</sup>(外壁部)

防災減災商品の取り扱い10件(セメント・土木資材部)

タイヤ空気圧点検5,000台(石油部)

木質ペレットの販売1,000袋(岡山木材市場)

エコキャップ回収500個/月(服部パーキング)

県産材の取り扱い3,600m<sup>3</sup>(岡山木材市場)

高品質材の販売5,800m<sup>3</sup>(岡山木材市場)

間伐50ha(山林部)

合法木材の取り扱い13,000m<sup>3</sup>(岡山木材市場)

健康診断再受診率100%(総務部)

インフルエンザ予防接種率100%(総務部)

無事故無災害

事業主パトロール 1回/月

木工教室の開催2回(岡山木材市場)

資格取得支援制度の設立

ブログ「山の便り」発信(山林部)

従業員満足度向上

改善の精神

硝子組合のボランティア活動(岡山ガラステクノ)

ファジアーノ岡山オフィシャルスポンサー継続

#### 2018年度の成果

9,620m<sup>2</sup>(300%) ▶18ページ

内窓工事19件、ガラス交換工事8件 計27件(67%)



2,550m<sup>2</sup>(91%)

鋼製スリットダム1件(10%)



14,582台(291%) ▶18ページ

1,010袋(101%)



500個/月(100%) ▶18ページ



2,709m<sup>3</sup>(75%)

4,254m<sup>3</sup>(77%)



40ha(80%) ▶17ページ

9,963m<sup>3</sup>(77%)



86% ▶12ページ

91%



安全体制強化 ▶09-10ページ



1回/月 ▶10ページ

2回 ▶23ページ



資格手当の支給開始 ▶13ページ

16回発信 ▶17ページ



従業員が活躍できる環境づくり

重機作業

オリーブ会の改善提案 ▶12ページ



和気本庄小学校のガラス施工ボランティア

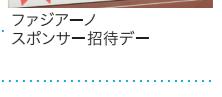


施工ボランティア ▶24ページ

▶21ページ

ファジアーノスポーツナー招待デー

服部興業



服部興業

スポーツナー

招待デー

# ▶トピックス

## 「平成30年7月豪雨」災害対応

この度の豪雨災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されたみなさまに謹んでお見舞い申し上げます。

我々は企業の社会的責任として、災害直後より復旧復興活動に取り組んできました。

### ▶ 岡山市東区の冠水対応

豪雨によりセルフ古都宿サービスステーション裏の住宅地が冠水したため、近隣住民の車両避難スペースとして7月7日の早朝から敷地内を提供しました。また冠水による車両下部バンパー破損の応急処置などの対応をしました。



従業員の  
感想

岡山市東区砂川氾濫に伴い国道250号線が冠水したため、深夜からサービスステーション前で車両通行止めの指示がありました。事情を説明し出勤できました。少しでも地域のために役立てて良かったと今でも感じています。



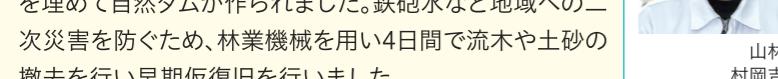
石油部 妹尾敏弘

### ▶ 真庭市山林土砂崩れ対応

真庭市・旧落合町では7月4日から7日にかけて440mmの降水量を記録し、社有林敷地内で崩れた山の土砂が河川を埋めて自然ダムを作られました。鉄砲水など地域への二次災害を防ぐため、林業機械を用い4日間で流木や土砂の撤去を行い早期復旧を行いました。



左の星印の現場斜面



山林部  
村岡吉久

### ▶ 倉敷市真備地区における対応

#### 氾濫河川の復旧事業

倉敷市真備地区の小田川堤防決壊3箇所について、応急措置として大型土嚢袋(1t)による修復が急がれましたが、当社は災害直後から県内の資材確保に奔走し、災害後3日目までに1,400枚を集めました。そのうち600枚は紫外線劣化を抑制する3年耐候性のものです。全国的に資材不足になる中で、まとまった数量を確保して最短納入したことで復旧事業に協力できました。同様に吉井川にも400枚を納めました。



#### 燃料配達

災害直後に生活道や用水路に流されていたガレキの除去するために、被災した倉敷市真備地区で重機を使用していた土木業者へ燃料配達を行いました。(7月12、14、23、25、26日に計612ℓの軽油を配送)12日、14日は往復で4時間要し、それ以後も2時間弱の時間がかかりました。その後も一部の小規模な土砂崩れの復旧や、高梁川復旧のための作業道を作る工事で重機に燃料配達を行っています。

#### 従業員が感じた課題

- 災害直後は道路状況(通行の可否)が分からず移動に苦労した。
- 住民の方や作業関係者、またマスコミ・野次馬の車が多い上、通行不可の場所も多く1か所の作業に時間がかかりすぎた。
- 様々な業者が配送を各所に依頼したため、効率が悪く、市・自治体が管理すべきだと感じた。



土木資材部  
佐藤公彦



石油部  
河本和幸

#### 従業員派遣活動



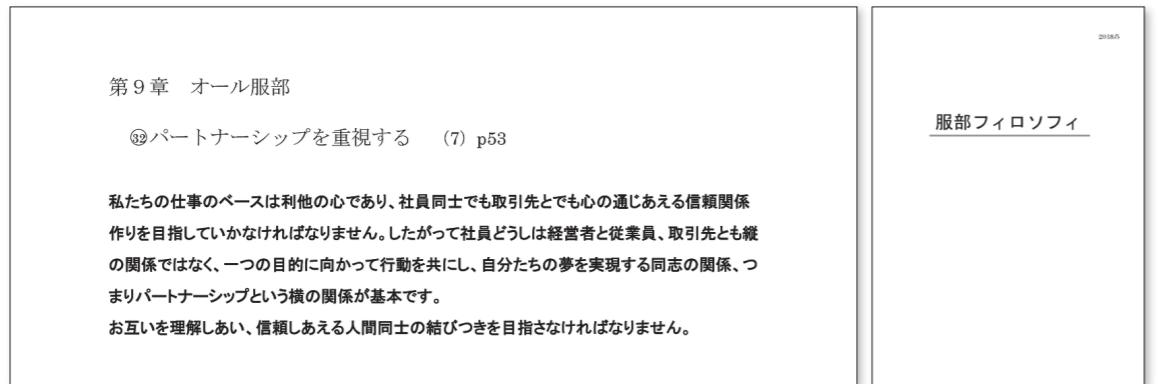
7月12日、13日に倉敷市真備地区で被災された取引先の倉庫片付けをお手伝いしました。整然と積み上げられていた木材が斜めに押し倒され、足の踏み場もない状態でした。リフト等も使える状況ではなく、大きな倉庫内を片付けるには相当な人手を擁することが想像できました。いざ作業に取り掛かると、自分一人でできることができることが本当にちっぽけで頼りないものだという事に気づかされます。それと同時に一人の頼りない力でも力を持ち寄り協力し合えば確実に前進できる事も改めて感じられる経験でした。

岡山木材市場 難波正夫

# 経営理念を実現するために(組織統治)

## ■ 服部フィロソフィを定めました

2018年5月に40項目の服部フィロソフィを定めました。人として正しいことを実践し、正しい判断ができる人材育成を目指しており、そのための羅針盤となっています。毎月の勉強会では輪読を通じてフィロソフィの浸透を図っています。



## ■ CSRへの取り組みを強化しました

2017年8月から設置したCSR委員会を中心に活き活きと働く環境作りを推進しています。他社やNPOの他者の取り組みを勉強しながら、自分たちの事業と社会課題の結びつきを考えるようになりました。2018年4月にはSDGs宣言を行い、これらの取り組みについてはホームページのFacebookで情報発信しています。また、CSRレポートづくりにも取り組みました。



QRコード

## ■ 安全への取り組み

私たちの職場環境は建築現場や山林作業などの危険業務や、危険物を取り扱う仕事もあります。従業員や協力会社の方が安心して働くため、営業推進と安全は車の両輪であるという価値感を共有しています。

2018年度は外壁部の建築現場において休業4日以上の重大労働災害が発生しました。この事故を受けて安全管理体制について改めて考え直すきっかけとなり、部門長会議に加えて外壁部では安全衛生委員会を設置し毎月安全ミーティングをしています。



毎月の部門長安全会議

## 安全パトロール

毎月1回、安全パトロールを実施しています。安全衛生のコンサルタントにも同行いただき、作業現場や事業所に潜む危険性・有害性がないか確認し、改善指導・アドバイスを行っています。2018年度はビル、工場、保育園など様々な建設現場で実施しました。社長自身が同行することも多く、三現主義の実践および安全に対する意識付けに繋がっています。従業員はもちろん、協力会社や元請会社とコミュニケーションを取ることができる点も、意義の一つと言えます。実施内容は報告書にまとめ、全従業員と情報共有しています。



報告書

## 安全大会

安全大会は、安全衛生に関する決起集会です。部門長(=安全衛生推進者)を中心として、毎年1回、部門毎に現状と今後どのような取組みを行っていくか発表しています。また、外部講師を招いて、講演も行っています。2018年度は「交通安全」をテーマにしたものでした。ただ話を聞くだけでなく、シートベルトの実験等も行いながら、交通安全について考える場となりました。



計画書

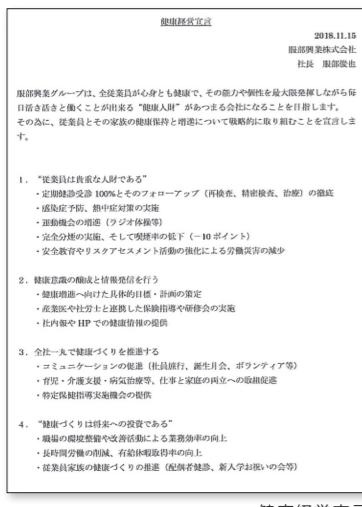
## 外部安全コンサルタントによる指導

2013年より外部安全コンサルタントを招き、安全の取組みを強化しています。各部門長は安全衛生管理計画書を作成、事故が起きた際の対策を考えたり、最新の安全の情報を提供してもらっています。毎月の安全パトロールに同行いただき、現場で指導してもらうことで、安全意識の向上に繋がっています。2018年度は新たに、安全衛生法に則った特別教育を2回開催しました。現場には必ず有資格者を配置し、安全に作業ができる環境を作っています。



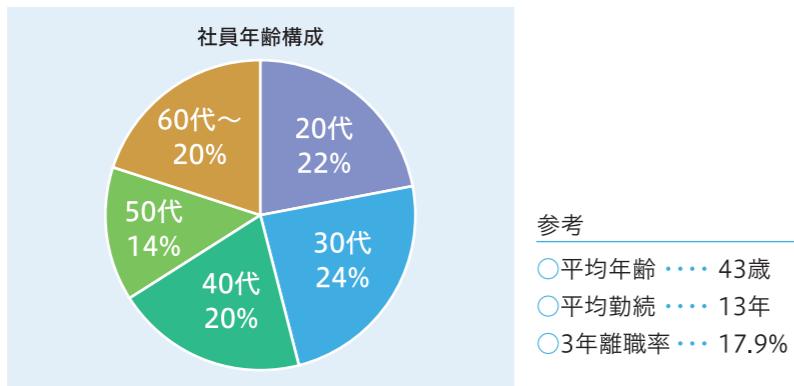
## 健全な企業風土づくり(人権)

就業規則に労働条件を記載し、人事制度マニュアルによって待遇面を明確化しています。2018年11月に健康経営宣言を行い、2019年2月には健康経営優良法人に認定されました。従業員が心身ともに健康に働き、それぞれの能力や個性を最大限発揮しながら毎日活き活きと働くことができる“健康人財”が集まる会社を目指しています。



## 従業員の意思を尊重した活躍の場を提供しています

グループ全体で各年代をバランスよく採用することで技術継承などの世代交代が円滑に進んでいます。高齢者の再雇用においても従業員の意思を尊重し19名が60歳を超えて一緒に働いています。



## 育児休暇取得後も元気に職場復帰しています

育児休暇取得者:女性従業員2名



産休復帰後も産前と同じ部門で、今までの営業事務とは違う見積(積算)担当という立場ですが、皆さんが気にかけてくださり居心地よくとても助かっています。産前に行っていたシンプルな見積とは違い自身のスキルアップにもつながっています。子供が急に熱を出すこともあります、周りの方がフォローして下さりとてもありがたいと日々実感しています。恵まれた環境に感謝しています。

土木資材部 青山麻衣

## 女性目線での改善提案を行っています

服部興業グループの女性従業員で月に一回集まり、働きやすい環境づくり目的としてオーリーブ会を組織しています。女性の声が会社を良くしていく仕組みとなっており様々な改善が行われています。

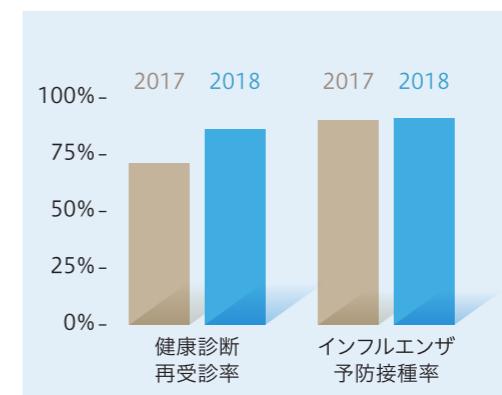
### 主な実績

- 3階大会議室の机イス入替
- アロマディフューザー設置
- エアコンハイブリットファン取付
- 本社玄関のセンサーライト取付
- 掃除の分担や道具の見直し
- 日報で仕事内容の共有
- 2階休憩室の整備



## 健康管理、健康維持の取り組み 従業員の健康づくりに向けたフォローをしています

定期的なフォローにより再受診率が15%向上しました。今後は要再受診者数の減少が課題です。2018年度は健康に関する情報を毎月発信し従業員の意識を高めています。インフルエンザ予防接種の費用を会社で負担し感染予防や重症化を防ぐことに努めています。



### 毎朝朝礼でのラジオ体操



## 喫煙率減少に向けて取り組んでいます

事務所内の禁煙は実施し、受動喫煙防止に努めています。従業員の健康を考えると、喫煙率自体を減少させることが課題といえます。現状の喫煙率は約40%(電子たばこ含む)、ここから10ポイント下げることが今後の目標です。

## 社内ランナーが増えています

10月14日、お揃いのユニフォームでトマト銀行6時間リレーマラソンに7名初参加しました。

11月11日、おかやまマラソン2018にランナー3名が参加しました。



# 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)

服部興業グループでは従業員のやる気を引き出し働きがいを高めながら、一人ひとりを大切にした働きやすい環境を整えています。

## キックオフ (会社、部門決起大会)

4月と10月に半期ごとの部門・会社目標を発表します。目標を確認し全員経営で仕事に臨みます。キックオフ後には全員で昼食をとり、親睦を深めます。



## 決戦の日(全社勉強会)

毎月1回、各部門・関連会社の成功事例を発表します。自部門へ水平展開したり、新たな気づきを得ることを目的としています。新年互例会では優秀発表者を表彰します。2018年は10名が選ばれました。



## 表彰制度

毎年、新年互例会にて下記の対象者を表彰しています。

- 資格取得者 ..... 9名
- 勤続30年 ..... 1名
- 無事故無違反35年 ..... 1名
- 服部アワード MVP ..... 1名
- 優秀賞 ..... 3名
- パートナー賞 ..... 1名



一年間で最も活躍した人を従業員間投票で選出します。パートナー賞では社外取引の方でお世話になっている人を表彰します。

## 資格手当の支給を始めました

2018年度より会社が認定した業務資格について手当支給を始めました。資格を取得し業務の質を高めること、業務範囲を広げることを目的としています。個人の資格取得は会社や社会に役立つものと位置づけています。

### 保有者数

- 建築施工管理技士 ..... 1級、2級 10
- 土木施工管理技士 ..... 1級、2級 7
- ガラス技能士 ..... 1級、2級 14
- 自動車整備士 ..... 2級、3級 11
- 建設機械施工技能士 ..... 2級 1

## 従業員相互間のありがとうの繋がり「サンクスカード」

経営信条の一つ「感謝の気持ちを表そう」の実践としてサンクスカードを行っています。業務内外での感謝の気持ちを名刺サイズ大のカードに記入し掲示板に掲示、記入されたカードはお給料明細と一緒に受け取る方へ渡されます。2018年度は目標5,000枚で、5,365枚の記入がありました。前年度は3,457枚であり、感謝の意識が高まっています。



## 救急講習

6月16日、本社にて普通救命講習を開催しました。

岡山西消防署より講師を招き、従業員29名が心臓マッサージや人工呼吸、AEDの使用方法について実技を中心に3時間講習を受けました。不測の事態でも、考査基本の一つ「自ら進んで行動しよう」を実践できる従業員になるために、今後とも体験の機会を作っていく予定です。



## 新たな自分発見の旅「歩行ラリー」

与えられる断片的な地図に従って、決められた道順・時間でゴールを目指す研修です。三現主義(現場・現物・現実)やSTPD(See-Think-Plan-Do)を体得します。2018年度は4名が参加し、異業種の方との交流にも繋がりました。この研修後も「明日の仕事を考える会」として社外アドバイザーを招き、学んだことをどのように業務に活かしているか定期的にメンバー間で情報共有・アドバイスの場を設けています。

参加者の  
感想

他社の方と情報交換することで自分を見直すことができました。理想の自分になるために何をすべきかなどを深く考える良い機会でした。

## 誕生日お祝い

毎年誕生日にお祝いとして社長直筆のメッセージカードとお菓子のプレゼントが届きます。また、誕生月のメンバーと社長でランチを囲む昼食会も行っています。

### 参加者の感想

(入社して)初めは誕生日会食があることに驚きました。社長とお話しできるいい機会ですし、いつも楽しい時間を過ごしています。



## 結婚・出産・新築お祝い

結婚・出産・新築のあった従業員やご子息子女にお祝い金が渡されました。2018年度は、結婚3名、出産2名、新築3名でした。



## 新入学お祝い

毎年、次年度小学校に入学するお子様を持つご家族を会社に招き、新入学お祝いの会を開催しています。社長からの話やお子様へ絵本、文具等をプレゼントします。お子様には「小学校に入学したら頑張りたいこと」を絵にして当日発表してもらいます。ご家族の方々にも、お父さん・お母さんがどのような職場でどのような仕事をしているのか知ってもらう良い機会になっています。2018年度は5家族が対象でした。

### 参加者の感想

もらったプレゼントを子供も喜んでおり、職場に対しても興味を持っていました。妻も家族参加の行事がある会社は珍しいと、改めて会社の取り組みに興味を持ってもらえたと思います。これからも家族を大切にし、仕事をがんばりたいと感じました。



## おかやま子育て応援企業宣言企業



岡山県が取り組んでいる「おかやま子育て応援宣言企業」になりました。これは働く人や地域における子育て応援を目的として企業・事業所の理解や協力を促す取り組みです。服部興業グループは仕事と育児が両立できる環境の整備としてテレワークの導入検討や新入学お祝いの実施、若者の就労支援としてのインターンシップ開催を具体的な取り組みとしています。

## 200周年記念パーティー

2018年4月7日、創業200年を迎えました。創業記念日にホテルグランヴィア岡山にて服部興業グループ200周年記念パーティーを開催しました。社長挨拶に続き、200周年の歩みと従業員一人一人にスポットを当てた2種類のムービーを上映しました。会場は美味しい食事と共に、賑やかな団らんの場となり、記念に残るパーティーとなりました。ムービーはこの日のために200周年プロジェクト「広報委員」が中心となって作成したものです。



### 服部興業グループ "200年のあゆみ"

[https://www.youtube.com/watch?v=jTPHBi\\_x\\_hE&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=jTPHBi_x_hE&feature=youtu.be)

### 服部興業グループ "社員一人一人が主役"

<https://www.youtube.com/watch?v=TubzI6FfcY&feature=youtu.be>



## 社内旅行

毎年、服部興業グループ従業員を2グループに分け、従業員旅行を行っています。仕事を離れた場でメンバーとコミュニケーションが取れ、年代・部門問わず親交を深めることに役立っています。「旅行実行委員」が企画し、プラン作成やアテンドを行っています。近年は、金沢、京都、沖縄、東京と国内でしたが、2018年は、200周年を記念してハワイへ行きました。



### 実行委員の感想

200周年の節目に盛大な社内旅行の計画を実行させていただけたことに感謝しています。参加者全員が楽しかったと心から喜んでもらえたことが一番嬉しいことでした。

## 持続可能な環境への取組み(環境)

真庭市旧落合町にある380haの社有林は2017年11月に緑の循環認証会議SGEC(Sustainable Green Ecosystem Council)のFM(Forest Management)認証林として認定されました。2018年度はSGEC認証材として66m<sup>3</sup>のヒノキ材を出荷しました。これらは東京2020五輪大会の選手村ビレッジプラザの整備に使われます。

SGECは国内の森林認証制度で、違法伐採を排除すると同時に、生物多様性の保全や持続的森林経営のための取り組みを評価された森林に与えられます。現在も適切な森林整備の推進や希少動植物の保護に力を入れています。

当社の取得したSGECは国際認証のPEFCからも認められた森林および木材です。



SGEC/31-22-1024  
100% SGEC認証



2018年10月時点の外観イメージ/©Tokyo 2020

### 間伐40ha

山林部では2018年度、社有林で約22ha、民有林でも約18haの間伐等を実施しました。林内環境が向上し下層植生の繁茂、表土の流出防止などの効果が期待され、同時に生息する動植物の増加や木材の肥大成長を促します。



### 森に優しい生分解性オイルの使用

2018年度よりチェーンソーの潤滑に使用するオイルを鉱物油系のものから生分解性オイルへ全面変更しました。チェーンオイルは基本的にまき散らすもので環境負荷が大きく、年間使用量は約350ℓです。自然界に存在するバクテリアによって速やかに分解されるため生物に対する無毒性が立証されたオイルです。



### 希少種の発見

SGECのFM認証林では、希少種を発見した際に保護し報告する義務があります。2018年度は新たに岡山県レッドデータブックで絶滅危惧II類に該当するコキクガシラコウモリを発見しました。今後もこれら希少種の保護に努めています。



山林部ブログ「山の便り」  
<http://www.hattori-k.co.jp/the-news-of-the-mountain/>



## 省エネガラスの取り組み

硝子部やサッシ部で取り扱うガラスは、大半が省エネガラスと呼ばれるものです。省エネガラスとは、遮熱性や断熱性に優れており、冷暖房やCO<sub>2</sub>の削減に繋がります。省エネガラスは通常のガラスと比べ、約2.6倍のCO<sub>2</sub>削減効果があると言われています。消費するエネルギーを最小限にし、住み続けられる街づくりを創造するため、環境に優しい商品を積極的に提案していきます。

### タイヤ空気圧点検

各サービスステーションではタイヤの空気圧点検を無料で行っています。タイヤの空気圧を適正にすることにより、お客様の安全運転を守るだけでなく、タイヤの寿命を延ばし燃費も向上します。(空気圧による燃費向上は市街地で2%、郊外で4%とされる) 2018年度の点検台数は14,582台でした。省燃費タイヤの提案も行っていきます。



### エコキャップのリサイクルに取り組んでいます

2018年度からペットボトルのキャップ(エコキャップ)の回収、NPO法人エコキャップ推進協会へ寄付を始めました。キャップ1kgを焼却した場合、約3,150gのCO<sub>2</sub>が発生します。寄付したエコキャップはプラスチック原料として換金され、医療支援や障がい者支援、子ども達への環境教育等、さまざまな社会貢献活動へあてられます。業務で外出した際にリサイクル工場へ持ち込んでいます。



#### 回収場所

- 本社
- 岡山ガラステクノ
- サービスステーション(セルフ平野、倉田、セルフ花尻、セルフ古都宿)
- 服部パーキング
- 岡山木材市場
- 落合山林事務所

#### 2018年度寄付数量

| 個数     | 重量(kg) | CO <sub>2</sub> 削減(kg) |
|--------|--------|------------------------|
| 19,932 | 46.35  | 146                    |

### 従業員が私生活でもCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。

#### 岡山県省エネサマーチャレンジ

2018年度も会社で電気使用量削減の取り組みを呼びかけ、12名が参加しました。また社内ではクールビズやハイブリッドファンを取り付けるなど、様々な工夫をしながら省エネに取り組んでいます。



#### ごみ削減プロジェクト

社内で案内し8名が家庭ごみの削減に取り組みました。

参加者の感想 | 自宅にコンポストがあれば生ごみが減り、可燃ごみを削減できると感じました。

## 法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)

### コンプライアンス(法令遵守)

私たちの事業は建築・土木・エネルギー・サービス業・林業と多岐に渡っており、遵守すべき法律も多様です。以下の法令を重要なものと位置付けており、社員教育を実施しています。

社会法 労働基準法、労働安全衛生法など

産業法 ○建築・土木……建設業法など

○エネルギー……消防法など

○林業……森林法(環境法)など

○共通……道路交通法など

### 安全に仕事を行うための有資格者を増やす取組み

外部講師を招き、協力会社を含めてフルハーネス型安全帯使用作業特別教育を実施しました。主に建設現場の高所で使用する安全帯ですが、胴ベルト型からフルハーネス型着用が義務化されます。2022年1月までの猶予期間がありますが、従業員および協力会社の安全を考え、教育および新規格の安全帯の支給を進めています。2018年度は2回開催し、57名が有資格者となりました。



胴ベルト型

※高さ5m以下の場合に使用



フルハーネス型

※高さ5mを超える場合に使用

## お客様の安心と満足のために(消費者課題)

### トータルカーライフサポート

2018年度より新たにカーリース事業を始めました。これにより車に関する全ての事(保険・車販・給油・洗車・車検・整備etc)が対応できるようになりました。お客様へ安心・安全を提供し「カーライフパートナー」としてサポートをさせていただいています。7月豪雨災害では当社保険契約者で、被災された方への保険対応を迅速に行いました。水没した車両が多く、車両不足の中で、カーリースを通じて早期に対応することができました。



### セブンイレブン併設のサービスステーションをリニューアルOPEN

11月23日、Enejetセルフ古都宿サービスステーション&セブンイレブンの複合店第一号としてリニューアルOPENしました。給油と買物を両方できる利便性をお知らせしたところ、多くの近隣のお客様から「1日も早くOPENして欲しい」などのお声を頂く事ができました。今後、「近くで便利」は勿論のこと、サービスステーションとの複合店としての強みを活かし、サービス向上に努めます。



### ミステリーショッパー(顧客満足度調査)

石油部サービスステーションでは毎年2回元売から一般の調査会社に依頼をしサービス(接客)&クリーニング(外観清掃)の覆面調査を実施しています。内容は、入店～退店までのスタッフの一連の接客や施設(トイレ、洗車機など)の清潔さなど細かいチェックがあります。その後、結果を基に振り返り、課題の抽出、対策、改善を実施しています。お客様と一番身近に接する機会が多いサービスステーションとして常にサービス向上を追求しています。2018年度は倉田、セルフ花尻、セルフ古都宿が、4ランク中、最上級の『Sランク』を頂きました。

## 地域の皆様とともに(コミュニティへの参画)

### ■ ファジアーノ岡山を応援しています

2008年のJ2昇格当初から、オフィシャルスポンサーを務めています。創業200周年を記念した2018年の協賛デーは、9月15日に京都サンガF.C.と対戦しました。当日は、従業員とその家族、お取引先様合わせて1,017人(入場者数13,851人)の大人数で応援しました。ファジアーノ岡山と一緒に岡山を盛り上げ、ともに成長していく存在でありたいです。



#### 社員の感想

試合前にピッチに立って選手目線でスタジアムを一望できるイベント(ニアザピッチ)に参加しました。マスコットキャラクターであるファジ丸との写真撮影や選手たちとのハイタッチなど試合前から大興奮で、試合中もいつも以上にハイテンションで応援しました。残念ながら結果は引き分けに終わりましたが招待した取引先の方にも「勝てなくて残念だったけど大変楽しかった」と喜んでもらいました。



### ■ ボランティアで支えるおかやまマラソン

11月11日(日)、第4回おかやまマラソン2018が開催されました。

参加ランナー約16,300名、2018年度からゼッケンに都道府県名が記載され、県外からも多数のランナーが参加していることが分かる盛大な大会となりました。服部興業グループからは5名がボランティアとして参加し、35km地点の給水所でランナーの皆さんへ塩タブレットやゼリーなどの給食を配布しました。

また、給水所隣の岡山木材市場ではボランティア向けに駐輪場と休憩場を提供し、メンバー総出で沿道で応援しました。服部興業グループからも3名が出走し、42.195kmを無事完走することができました。



### ■ 産学連携の国際インターンシップ (CO-OPプログラム)に参加しています

2018年度で大学生の受け入れが4年目となりました。CO-OPプログラムとは、岡山大学とカナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)、岡山県内木材関連企業、岡山県が連携しておこなう「グローバルインターンシップ」です。2018年度も9月5日から28日までの約一ヶ月間、UBC男子学生1名と岡山大学女子学生2名を真庭市の落合山林で受け入れ就業体験を行いました。日本の森林・林業の役割や仕事内容を経験してもらい、働くことについて学びながら異文化交流もできる実践型インターンシップです。学生は実践知を得られる有意義な取り組みです。



#### 海外学生感想抜粋 (翻訳しています)

カナダと比べ日本の森林は険しく、日本の林業がどのようなものかを知る良い機会となりました。日本人は真剣に仕事を行い、とても勤勉です。私はそれらをもっと見習うべきだと感じました。

#### インターンシップ 現地報告会 (inバンクーバー)

岡山大学の先生と参加学生の現地報告会に参加しました。カナダの学生のプレゼン力の高さや視野を広げるための課外活動への熱心さに感心しました。カナダでは林業に関する持続可能な仕組みが確立されており大学での研究・教育と経済活動が結びついていると感じました。

## ■ 大学生の就業意識を高めるインターンシップを行っています

大学生を対象とした1デーインターンシップを開催しました。仕事観の醸成や社会・企業理解を目的として、のべ9名の学生に営業部門や総務部で実際の仕事を体験してもらいました。



### 学生の感想

実際の職務のイメージと現実のギャップを埋めることができたのは、自己分析や今後の就職活動に活かしていくと感じました。

## ■ 中学生のための職場体験を行っています

11月13日(火)から15日(木)の3日間、石油部のセルフ平野サービスステーションで吉備中学校の生徒3名を受け入れました。

### 従業員の感想

最初は物怖じしている様子もありましたが次第に笑顔も見られ、最終的には自ら進んで積極的に取り組んでくれました。今回の職場体験を通して、仕事内容だけでなく経営方針や服部興業グループが大切にしていることも伝えることができました。中学生たちの今後の職業選択の一助となれば幸いです。

### 生徒の感想

最初は接客が嫌だったけど、終わってみると案外面白いと感じました。タイヤ、オイルの交換作業を見学しているうちに、車にも興味が出てきて楽しい経験ができました。



## ■ 地域とふれあう木工教室を開いています

10月27日(土)、岡山木材市場がある平井地区の平井まつりにおいて「親子ふれあい木工教室」を行いました。今回は22家族が参加し、親子で協力して一枚の杉板から椅子を制作してもらいました。完成した椅子を子供たちが持て嬉しそうに記念撮影をしていたのがとても微笑ましかったです。良い思い出として、この作品をいつまでも大切に使ってくれればと思います。



## ■ 学校の安全性を高める ガラス施工ボランティアに参加しました

ガラス関係の業界団体で作る機能ガラス普及推進協議会の取り組みでガラス施工ボランティアに参加しました。今回は同協議会から寄付された防災安全ガラスを和気町・本荘小学校体育館に取り付けました。万一割れても破片で怪我をしにくいガラスのため、安全性が高まりました。

### 地元新聞記事にも紹介されました



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

ご意見・ご感想をお聞かせください。

服部興業グループCSRレポートについてのアンケート



## ▶第3者意見

### 任意団体

#### 「CSR報告書を読む会」について

代表幹事 川元 盛樹

2018年度服部ホールディングスCSRレポートの発行に当たり、第三者意見を担当する「CSR報告書を読む会」は、2011年より岡山県で、「組織の社会的責任に関する調査・研究と勉強会の開催」を主な事業として活動している団体です。

地元岡山を持続可能な地域にすべく、その実現に大きく関わる企業にスポットを当て、社会的責任に取り組んでいる優良な事例を紹介し、ボトムアップを図ろうという意思を持ったメンバーが集まり活動しています。

勉強会では、岡山県内の企業を対象に企業やすべての団体・組織に適用可能な社会的責任に関する国際規格ISO26000を参考のガイドラインとして活用し、企業からゲストを招き、組織の社会的責任や対応に関する活動を紹介した報告書や発表内容について、参加者と共にわからないことを確かめたり、意見交換を行い、対話を通じて学び、理解を深めています。

これまでに、10回の開催をしています。運営には、立場の異なる4名の幹事が関わり、NPO法人の視点、環境専門家の視点、労働組合の視点、企業のCSR担当の視点でCSR活動についての検討、研究を行っています。



代表幹事  
川元 盛樹

岡山県労働組合会議

#### 特筆すべき点

労働安全衛生をしっかりと行い、労働災害防止に努められていることがわかります。課題項目が組織統治に位置づけられていることから、安全衛生法と企業理念を結び付けた活動が行われている様子も見えてきます。また、受動喫煙防止の観点から、禁煙の推奨が人権問題として位置づけられている点が示唆に富んでいます。

#### さらなる取り組みを期待する点

女性(ジェンダー)に関わることがすべて人権問題になるわけではありません。例えば、女性目線での改善提案について、具体的にどのような意見があり、それは何故なのか、そしてどうして改善したのかまで総合的に考えることで、女性の声は人権問題なのか労働問題のかと課題を分類して考えることが可能になります。

取り組みが豊富なので、SDGsの内どこに該当するかを精査することがなかなか難しいと思われますが、何が労働慣行や組織統治、人権問題に該当するのかを基礎から整理することで、より課題を明確にすることができます。



幹事  
石原 達也

特定非営利活動法人  
岡山NPOセンター  
理事長

#### 特筆すべき点

SDGs及びISO26000とリンクさせたCSRレポートを作成されたことに敬意を表します。SDGs達成にはこうした取り組みの積み上げが重要だと思います。

また、頻発する災害の中で森林の管理を適切に行なうことはその予防として重要な事の一つだと考えます。間伐の実施や生分解性のチェーンソー油開発も特筆すべき点だと思います。

あわせて、地域及び海外からもインターンシップの受入を行い将来世代の育成に時間を投資されていることはまさしく将来の持続可能な地域につながる取り組みです。

#### さらなる取り組みを期待する点

さらに踏み込んでSDGs目標1の貧困の問題など、地域内における特に子どもの格差是正など将来投資として検討されることを期待します。



幹事  
築谷 淳志

公益財団法人  
岡山県環境保全事業団

#### 特筆すべき点

森林資源管理、建設資材卸売、エネルギー供給を営まれる企業として、県下で初めてCSRレポートを作成されたことに敬意を表します。昨年7月の西日本豪雨に対する初動や復興活動の事例紹介は、御社のフィロソフィを体现する素晴らしい活動であり、今後自社BCP策定や訓練、地元自治体や周辺企業との協定締結など、貴社と地域の持続可能性を高める取り組みにも挑戦していただきたいと考えます。

また、社有林のSGEC-FM認証取得は、地域の森林資源を持続可能なものとしていく経営が認められたものであり、持続可能な調達を志向する企業のニーズが高まることが期待される優れた取り組みです。

#### さらなる取り組みを期待する点

SDGsへの貢献に挑戦されていますが、「陸の豊かさを守ろう」「つくる責任使う責任」「気候変動に具体的な対策」は貴社に大きなインパクト、ビジネス機会となる可能性の高いSDGsであり、今後の取り組みを期待します。まずは、CO<sub>2</sub>排出量、廃棄物排出量など自社の環境負荷量を把握し、改善に取り組まれることをご提案します。



幹事  
小桐 登

岡山県ボランティア・  
NPO活動支援センター  
CSR担当

#### 特筆すべき点

創業より200年を超えて経営を続けられてきた事にとどまらず、さらなる発展と地域貢献に向けて、経営理念の浸透と実現のための組織運営を行なっています。SDGs宣言とともに経営課題をSDGsとリンクさせ、その取り組みを数値での目標として表現されていることは評価できます。また、ISO26000に準拠したレポートの構成は、わかりやすく取り組み内容も多岐に渡っています。

#### さらなる取り組みを期待する点

重点成長目標→成果に統一して次年度以降の課題や取り組み方についての記述を加えられるとさらに目標の達成に有効であると考えます。